平成 30 年度　第３回鹿屋市子ども・子育て会議　会議録（要点筆記）

開催日時	平成 31 年２月 14 日（木）13:15～15:00	
開催場所	鹿屋市役所７階大会議室	
委員出欠	出席委員 20 名	森委員、朝野委員、岩本委員、エルメス委員、鮫島委員、 立切委員、山口（か）委員、山口(な)委員、西之原委員、 岡留委員、福元委員、濱上委員、新川委員、有川委員、 清水委員、田木委員、馬場委員、渡邉委員、末吉委員、 吉永委員
	欠席委員 ７名	安藤委員、寳滿委員、大塚委員、吉﨑委員、軀川委員、 宮下委員、久保委員
事務局及び関係部課出席者	中津川保健福祉部長、白坂子育て支援課長、竹之内課長補佐、原田係長、 堂地係長、坂口主査、下小野田主査、吉永主任主事、牧野主事 （福祉政策課）駒路係長 （健康増進課）加世田主幹 （教育総務課）岩元補佐 （学校教育課）菊谷指導主事 （生涯学習課）有村係長	
傍聴者	なし	

【１　開会】
【２　報告】
（１）　平成 30 年度第２回子ども・子育て会議　会議録の報告
（２）　平成 31 年度教育・保育施設の定員変更について
（３）　幼児教育・保育無償化について

（委員の意見等）
なし

【３　議事】
子ども・子育て支援に関するニーズ調査結果について

（委員）
子育て環境や支援の満足度について、５段階評価の３から５を合わせて 63.6%で、前回の調査時より上がっているという説明だったが、３というのは可もなく不可もなくというところであると思う。４と５では 22.6%、１と２では 34.1%であることを考えると満足度が高いとは言えないと思う。

（委員）
「子育て支援センター、つどいの広場などを利用をしているか」という設問で、83.3%が利用していないという回答であるが、つどいの広場は年齢制限があり、３歳以上になると入れなかったりするが、利用できる対象でない年齢の子も、アンケートの対象としているため率が下がっている。年齢に応じたアンケート内容であると良いと思う。

（委員）
アンケートの回収率が 37%というのは、低すぎるのではないか。

〔　本市では、今回のアンケートの他にも各種計画のアンケートを 3000 から 4000 の客体で実施しているが、回収率は 30％から 40％となっている。統計学上も問題はないと考えている。〕

（委員）
　アンケートに答えた家庭に商品券や図書カードなどがもらえるなどすれば、回収率が上がるのではないか。

（委員）
　鹿児島市など他の市はどのような方法で回収し、どのくらいの回収率なのか。
〔　他市の状況については、情報を持ち合わせていないので、次回お知らせする。〕

（委員）
　ニーズ調査は何のためにあるのかということ、この４年間で鹿屋市としてどのようなことをやってきて、そのことが、どのようにこの調査の中に表れているのか、どこが足りないのかなどを分析し、必要な政策を次の５年間に掲げていくことが大事である。

（委員）
　アンケートに答えた人は、このアンケートがどう生かされるのかを知りたいのではないか。このアンケートが何に使われ、どのようなことに繋げますというようなものがあれば良いと思う。
〔　これまでの４年間にやってきたことや、５年前のニーズ調査と比べてとのように変わってきているかなどを分析しながら、市民の皆様方の考えに即した事業となるように取り組み、その結果についてお知らせできればと考えている。〕

（委員）
　日曜祝日の定期的な保育利用希望について、「利用する必要がない」という回答が 68％で最も多いが、鹿屋市もサービス業などで、日曜祝日も仕事の方が増えてきている。32 年度以降の計画では、少数の意見も取り入れてほしい。

【４　その他】
〇平成 31 年度子ども・子育て会議スケジュール
（委員）
　ニーズ調査結果に基づく需要量の算出や供給量など、委員の意見が必要なのか。何について意見を言えばよいのだろうと思う。鹿屋に住んでいて、こういったところが不便であるなとの意見は反映されるのか。
〔　子育て支援策は５年間の計画に基づいて行うこととなっており、平成 26 年度に計画をつくり、来年度がそれに続く５年間の計画づくりの年となっている。委員になられて最初にお配りした資料に委員の役割というものあるが、例えば保育園の定数を決める、病児保育や一時預かり事業など 13 の事業について意見を伺うこととなっている。数字ばかりが並んで、自由な意見が反映されるのかと思われるかもしれないが、計画には出てこない部分についても、皆様の御意見が、いろいろな事業において反映されることとなるので、率直な御意見をいただきたい。〕

（委員）
　スケジュールの３月に実績等の整理、現行計画の評価、課題の整理とあるが、ここが一番大事ではないかと思う。これまでの結果を踏まえながら、今回のニーズ調査でどう

なったのかというところをもう少し丁寧に話をする場がこの子ども・子育て会議ではないかと思う。

（委員）
　この会議で上がった意見をきちんと受け止めてほしい。例えば、保育士の求人のシステムも良いと思うが、それよりも貧困で保育士になりたくても学校に行けないということのないように奨学金制度をつくるなどしてほしい。意見と実際の施策にずれが生じないようにすり合わせしてほしい。

（委員）
　鹿屋市は子育てに熱い町だと思う。かわいい孫への贈り物事業やインフルエンザの一部助成、子育て支援基金による保育料の軽減などを市のホームページで知った。ホームページだけでなく、もっとアピールできないかなと思う。

〇母子健康手帳アプリについて
（委員）
　何歳までの子どもが対象か。
〔　主に未就学児を対象とした育児のアプリだが、最長で 21 歳まで利用することができる。〕

〇成人式について
（委員）
　お正月休みに合わせて１月２日や３日に実施する考えはないか。
〔　委員と同じ意見をいただいており、来年度については検討中である。〕

〇アンケートについて
（委員）
　アンケートは子どものためにやるもので、商品券がもらえるからアンケートに答えるというようなことではないと思う。アンケートに協力していただくための意識をどうやって高めるかが大事ではないか。

（委員）
　回収率が上がらなかったことは残念だと思うが、アンケートの意見を見ると、子育ての負担をなくしてほしいとか健診の待ち時間が長いとか共感できることだと思う。

【５　閉会】

※〔　〕は事務局及び関係部課の回答。